とよかわ市民協働基本方針実施計画　その他事業一覧

番号	事業名 （主管課等）	協働先	協働形態	事業目的・実施内容	課題や今後の方針	自己評価	自己評価の理由
(例)	集まれ！ボランティア・市民活動まつり （市民協働国際課）	NPO 法人 ボランティアコーディネートの会	事業共催	市民活動団体のコーディネートに専門的に取り組んでいる NPO 法人と共催して、市民にボランティアや市民活動に興味をもってもらい、活動への理解や参加を促すために、「集まれ！ボランティア・市民活動まつり」と題して、イベントを開催しました。 開催日：8 月 4 日（日曜） 参加者：2,000 名	参加者、団体、共催相手のいずれからも良い評価を得たので今後も継続して開催する予定。 しかし、大変多くの参加者で賑わったが、出展に協力してくれる団体が予定よりも少なかった。団体への参加をより一層促すとともに、団体から日程への要望が多くあったためその点についても検討し 1 団体でも多く参加してもらえるように改善を図りたい。 **※記入にあたっては、担当課の意見だけでなく、協働相手の意見も反映するように心掛けてください。** **協働事業が終了したら、必ずふり返りの場を持ちましょう。協働相手と同じテーブルについて、事業の成果やプロセスをふり返り、その結果を次の事業に生かすことが大事です。** **ふり返りにあたっては、参考資料「協働事業　振り返りシート」を利用すると活発な意見交換ができると思います。**	4	初めての開催にも関わらず、多くの人に参加してもらえたことを高く評価した。 当日実施した参加者アンケートでも良い評価を多くいただき、事業目的が達成されている。 ただし、協働相手との打合せが不十分で、当日の進行に行き違いがあり、一部参加者に迷惑をかけた。
1	声の広報・点字広報「とよかわ」の発行 （秘書課）	こだまの会 あめんぼうの会 ほたるの会	事業協力	音訳ボランティア「こだまの会」が広報「とよかわ」を読み上げたものを CD やカセットテープに録音し、社会福祉協議会を通して視覚障害者の方へ提供。また、点訳ボランティア「あめんぼうの会」「ほたるの会」が広報「とよかわ」を点訳し、社会福祉協議会を通して視覚障害者の方へ提供。市は資材の提供と謝礼の支払いをしている。	点訳の協働先を変更し、音訳・点訳ともに安定したものを作成できている。 今後も、団体と市との情報交換を密に行っていく。	4	団体の協力により、視覚障害者にとって必要な情報を、必要に応じた形で提供することができた。年度の初めに問題点等の意見交換会を実施した。その後も団体の担当者と意見を交換し、改善にも継続して取り組んでいる。

とよかわ市民協働基本方針実施計画　その他事業一覧

番号	事業名 （主管課等）	協働先	協働形態	事業目的・実施内容	課題や今後の方針	自己評価	自己評価の理由
2	読み聞かせ教室事業 （子育て支援課）	各地区読み聞かせボランティアグループ	事業協力	市内５地区の読み聞かせボランティアへの活動支援を行い、幼児から小学校低学年の児童を対象に地域のボランティアが絵本の読み聞かせや工作等を行う。 年間開催回数：５５回	年々参加する児童や親子が少なくなっていることが課題である。今後は、読み聞かせ教室の周知を広く行っていくことで、参加者数を増やしていくように努めたい。	3	季節にあった絵本の読みかせや工作は、参加者やボランティアにとって、とても有意義で楽しい時間となっているため。
3	ブックスタート事業 （子育て支援課）	個人	事業協力	赤ちゃんと保護者等が絵本を介して心が通じ合う温かい時間を持ってもらうため、保健センターでの４か月児健診時にボランティアが絵本の読み聞かせを行い、絵本等を手渡す。 年間開催回数：３６回	参加する親子、ボランティア、保健センター職員のいずれも今後の事業継続を望んでいる。しかし、保健センターの健診の合間に読みきかせを行うため、限られた時間の中での読み聞かせとなることが課題である。今後も、ボランティアや保健師、栄養士と協力することで、絵本を介して、親子の心が通じ合う温かい時間をつくっていく。	4	１歳６か月児健診時に実施したアンケートでは、９割近くの保護者が「今後も事業を続けてほしい」との評価をしており、事業目的が達成されているため。
4	子育てサポート事業 （子育て支援課）	個人	事業協力	ボランティアの協力により、保護者が安心して子育てできる、また子育てが楽しいものと感じられるよう育児支援を図り、保健センターでの２歳児歯科健診時にボランティアが手遊び、紙芝居、絵本の読み聞かせ等を行う。 年間開催回数：３６回	参加する親子、ボランティア、保健センター職員のいずれからも、健診の待ち時間を親子で楽しく過ごすことができると、高評価のため引き続き行っていく。	4	手遊び、大型絵本の読み聞かせや腹話術など、ボランティアそれぞれの得意分野を活かして、親子で楽しめる時間を作り出しているため。
5	健康づくり事業 （保健センター）	健康づくり推進員	事業協力	推進員の活動を「増やす・つなぐ・広げる」とし、健康学習によって得た知識や情報を地域に発信し広げていく。	職員と活動の目的を共有することで、市民の代表として推進員が主体的に意見を出せるよう働きかける。	4	推進員活動は市民へ広く啓発を図るのに大きな役割りを果たしている。特に今年度は糖尿病講演会での啓発や講座での企画など新たな活動にも広がった。今後も活動が継続できるために、意見を事業に反映したり、やりがいを持てるための支援が必要である。課題としては活動者の固定化と地域での推進員の存在の認識を図る

とよかわ市民協働基本方針実施計画　その他事業一覧

番号	事業名 （主管課等）	協働先	協働形態	事業目的・実施内容	課題や今後の方針	自己評価	自己評価の理由
6	音羽文化ホール（ウィンディアホール）せせらぎタイム （文化振興課）	ウィンディアホールせせらぎ	両主催	音楽文化の振興と裾野拡張、とりわけ演奏者と観客の育成を目的とし、気軽に楽しめるコンサートを実施している。 ボランティア団体が独自に企画運営する形でロビーコンサートを定期的に開催する。飲み物・菓子を提供するティータイムコンサートで、様々な楽器や編成を紹介している。 月に１度開催	スタッフの高齢化が課題。	4	ほぼ毎月の事業展開で継続性を保っており、地域に根ざした活動となっている。
7	御津文化会館（ハートフルホール）あったかハートのコンサート （文化振興課）	あったかハートのコンサート実行員会	両主催	気軽に聴くことのできるコンサートを実施することにより、生で聴く音楽の良さを広く知っていただき、地域の文化度を向上させることを目指す。 ボランティア組織と行政が協力し合って運営する形で２ヶ月に１度、ロビーコンサートを実施している。飲み物･菓子付きで、様々なジャンルの質の高い音楽を提供している。	コンサートを企画するセンスはよいので、モチベーションを高く維持しながら、楽しんで続けられるようサポートすることが必要。	4	夜間開催ながら、安定した集客力がある。企画が充実してきたことに加えて、自立性が高まっている。
8	小坂井文化会館（フロイデンホール）さわやか音楽会 （文化振興課）	さわやか音楽祭実行員会	事業協力	飲み物、お菓子付で気軽にいろいろなジャンルの音楽を楽しめるロビーコンサートを２ヶ月に１度実施する。	集客も安定しており、事業周知の努力が奏功していると思われる。引き続き、ボランティアの企画力を活かした活動を展開したい。	4	ボランティア主体の企画も定着してきたことに加えて、平日の昼間開催における集客力が増している。
9	豊川童謡祭り （文化振興課）	ふるさと童謡の会	事業共催	愛知万博を機に深まった童謡を歌い継ぐ活動を継続するため、童謡唱歌を含めた音楽に触れる機会を「童謡まつり」として開催し、子どもの情操教育や大人と子どもの交流を図ることを目指す。 平成 28 年 10 月 29 日開催（文化会館大ホール） 参加団体：17 団体、参加・入場者：1,200 名	活動も 10 年を超え、地域に定着してきたと思われる。助成については、その都度検討が必要だが、引き続き共催を含め協力していく。	4	例年並みの参加者・入場者があり、「童謡」を通して大人から子どもまで一体感を感じることができる催しとなった。事業目的は計画通り達成できたと考えられる。

とよかわ市民協働基本方針実施計画　その他事業一覧

番号	事業名 （主管課等）	協働先	協働形態	事業目的・実施内容	課題や今後の方針	自己評価	自己評価の理由
10	東三河演劇祭関連事業 （文化振興課）	東三河演劇祭実行委員会	両主催	数多くの演劇参加団体による本公演を協働で実施することで、単独ではできない規模の事業が実現するため、市と実行委員会が協働してその実施にあたる。	演劇を観るだけでなく参加することで、地域に演劇に対する関心を深めていると思われるが、より広い層への事業周知が必要である。	5	実行委員会が主体となって事業を企画展開することができている。 平成２８年度は国民文化祭あいち参加作品としても高い評価を得ることができた。
11	こどもミュージカルトゥインクル （文化振興課）	こどもミュージカルトゥインクル実行委員会	事業共催	平成１４年に発足したこどもミュージカルトゥインクルと岡崎音楽家協会および同所属の地元音楽演奏家との連携を通して相互の文化活動の充実を目指す。 月 2 回程度の練習を 1 年間実施 平成 29 年 3 月 26 日に第 7 回定期公演を開催（小坂井文化会館）入場者：約 500 名	こどもが主体のミュージカルを開催することで、地域の文化活動の充実につながっている。 助成については、その都度検討が必要だが、引き続き共催を含め協力していく。	4	会場は満席になるなど、例年と同様の盛況ぶりであった。事業目的は計画通り達成できたと考えられる。
12	ほーほう子ども音楽祭 （文化振興課）	豊川音楽協会	事業共催	豊川市の子どもたちの音楽文化の交流･発表機会として、コンクール形式による小・中・高校生の音楽祭を開催し、演奏水準の向上に資する。 平成 29 年 1 月 15 日開催（文化会館中ホール） 参加者：81 名　入場者：200 名	開催も 10 回を超え、音楽会は定着してきている。 助成については、その都度検討が必要だが、引き続き共催を含め協力していく。	4	部活動の大会ではない音楽会は他市ではなかなかないものであり、小中高生の文化寄与に貢献されている。事業目的は計画通り達成できたと考えられる。
13	とよかわ吹奏楽団定期演奏会 （文化振興課）	とよかわ吹奏楽団	事業共催	旧御津町から引き続き、平成２６年度まで豊川市と両主催で行ってきた御津吹奏楽団定期演奏会を、共催として開催し、豊川市全体への文化活動の波及を目指す。御津吹奏楽団は平成２７年４月１日にとよかわ吹奏楽団と改称。 平成 28 年 7 月 3 日開催（文化会館大ホール） 入場者：800 名	開催も 40 回を超え、集客も安定している。助成については、その都度検討が必要だが、引き続き共催を含め協力していく。	4	地域に根ざした吹奏楽団として、多くの市民に広く音楽を楽しんでもらうことができている。事業目的は計画通り達成できたと考えられる。
14	文化会館ロビーコンサート （文化振興課）	とよかわ舞台公演実行委員会	両主催	文化会館を身近に感じていただくことを目的に、気軽に楽しめるコンサートを実施。また、夜間に実施することで、新規の客層を取り込むことをねらいとする。 文化会館での初の開催となる飲み物付のロビーコンサートを実施する。第１回目はフォークソングコンサートを企画。	ロビーコンサートを定期的に行うための運営方法を検討する必要がある。	4	市民のニーズを的確に捉えた企画を計画し、広報活動を行った結果、チケットを完売することができ、お客様からも好評価を得ることができた。

とよかわ市民協働基本方針実施計画　その他事業一覧

番号	事業名 （主管課等）	協働先	協働形態	事業目的・実施内容	課題や今後の方針	自己評価	自己評価の理由
15	選挙に係る「声の広報」の発行 （行政課）	こだまの会	事業協力	音訳ボランティア「こだまの会」が選挙広報を読み上げたものを CD やカセットテープに録音し、社会福祉協議会と連携して視覚障害者の方へ提供。	対象者や対象者のニーズの把握をより適正に行い、市の選挙において引き続き実施する。	―	平成２８年度は、市の選挙の執行がなかったため、評価できません。
16	有害鳥獣対策事業 （農務課）	地元団体	事業協力	地元農家が中心となり、地域住民が狩猟免許を取得し、組織を立ち上げ自ら農作物に被害を与える有害鳥獣の駆除を実施し、被害の低減を図る。	農家が「自分達の農作物は、自分達で守る！」という取組みだが、農家ではなく狩猟者が中心となっている組織があり、高齢化が進む中で、地域ぐるみという点を考慮すると、事業が継続されるか懸念される部分がある。今後の方針としては山裾だけではなく、被害のある平野部も含めて組織を立ち上げること。課題は、担い手を育成していくことと考えられる。	4	町内会長の依頼により駆除組合が活動を行うといった町内にも認められた活動となっている。平成２８年度には、東上地区で１地区の駆除組合が設立され、現在１６地区の駆除組合が設立されている。これで、山裾エリアはほぼ網羅されており、農作物被害の低減につながっている。
17	音羽川水質調査・水生生物調査 （環境課）	国府小学校コミュニティ推進委員会	事業協力	地縁団体（国府小学校区コミュニティ推進委員会）が実施する音羽川の水質調査・水生生物調査について、資材提供など事業協力を行う。 開催日：　５月６日（金）水質調査研修会２５人 ８月２１日（日）水生生物調査９５人	国府小学校区コミュニティ推進委員会と、市が協働して音羽川の水質調査と、水生生物調査をすることで、活動が長期に渡り継続し、実際に水質も向上している。今後も同様に継続していく必要がある。	3	市が単独で実施するよりも、地域住民と協働で実施することにより、郷土愛も生まれ、活動も継続できている。
18	河川愛護活動 （道路維持課）	地域の河川愛護団体	事業協力	市が管理する準用河川・普通河川の草刈及びゴミ除去等の清掃を実施する地域団体に対して、報償費を支払い、河川環境整備活動への支援を行う。	活動団体を増加させる工夫を必要とする。	4	参加者の環境美化に対する意識が高揚したため。
19	川と海のクリーン大作戦 （道路維持課）	個人	事業協力	イベント参加者による豊川の堤防など河川敷の清掃活動を行うことにより、豊川流域の環境美化を図る。	河川沿線以外の住民の関心が薄い。今後より一層の周知を必要とする。	4	参加者の環境美化に対する意識が高揚したため。

とよかわ市民協働基本方針実施計画　その他事業一覧

番号	事業名 （主管課等）	協働先	協働形態	事業目的・実施内容	課題や今後の方針	自己評価	自己評価の理由
20	声の広報・点字広報「議会だより」の発行 （議会事務局）	音訳：こだまの会 点訳：ほたるの会（６月、11月）、あめんぼうの会（８月、２月）	事業協力	音訳ボランティア「こだまの会」が議会だよりを読み上げたものをＣＤやカセットテープに録音し、社会福祉協議会を通して視覚障害者の方へ提供。また、点訳ボランティア「あめんぼうの会」、「ほたるの会」が議会だよりを点訳し、社会福祉協議会を通して視覚障害者の方へ提供。市はＣＤやカセットテープ等の資材を提供し、また、Ｈ２８より謝礼を支払っている。	音訳・点訳ともに質のよいものが提供できていると認識している。 今後も、各団体、社会福祉協議会、広報「とよかわ」担当課との情報交換を密に行っていく。	3	音訳ボランティア、点訳ボランティアから特段の要望はなかったことと、議会だよりの音訳、点訳を必要としている人もいることから、今後も継続が必要と評価した。
21	三河国分尼寺史跡公園ボランティアガイド （生涯学習課）	個人	事業協力	三河国分尼寺跡史跡公園ボランティアガイドによる、説明ガイド・イベント協力・美化作業などを行う。	Ｈ１７の発足から、１０年経過しているのでメンバーの高齢化が課題である。随時養成講座を開催しているので、今後も継続したい。	5	養成講座を実施し、新規ガイドを得たことにより高く評価した。
22	学校サポーター事業 （教育委員会庶務課）	個人	事業協力	様々な知識・経験・技術などを持つ地域の人々に、サポーターとして学校を支援していただき、学校と地域が連携することにより、地域に愛され親しまれる学校づくりを推進することを目的に、各学校で希望するボランティア活動の内容に沿って支援をしていただける方を広報とよかわや市ホームページ等で募集し、学校サポーターとして登録していただいた方に、学校の環境整備や教育活動の支援を行ってもらう。	校区によってサポーターへの応募数に差があることから、学校の日や運動会など保護者や地域の方々が参加される行事の際にサポーター募集の周知を行うなど、より広く学校サポーター制度を周知する方法を模索していく。 また、愛知大学との連携・協働事業としてサポーター制度の学生への紹介、募集チラシの配布を実施しているが、それと平行して、教育課程を持つ近隣の大学へも範囲を広げて募集を行うことについて検討していきたい。	4	連携・協働を行っている大学からの登録はなかったものの、前年度と比較し、登録者が３４名増加したこと、また、これまで学校サポーターを募集していても応募の無かった学校へのサポーターの登録があったことを評価する。
23	病院ボランティア （病院医事課）	ぼらたまの会、すくすく合奏団及び個人	事業協力	地域に開かれた医療機関として、地域住民のボランティア活動を通して「開かれた、さわやかな病院づくり」を目指し、受診申込みの案内、外来診療科への案内、体の不自由な方への介助、入院患者の話し相手、小児科病棟等における読み聞かせ並びに外来モールにおけるピアノ演奏、バイオリン演奏など行ってもらう。	病院ボランティアは、患者サービス向上に大きく貢献されているので、今後も病院ボランティアの活動状況など掲示し、病院ボランティアの募集を継続していくが、ボランティア登録者は平成２８年度２月現在、５人と２団体とまだまだ少ない。	4	平成２８年度は新たに外来モールにおけるバイオリン演奏を行っていただくボランティア団体を登録し、患者サービスの向上に大きく貢献できた。